

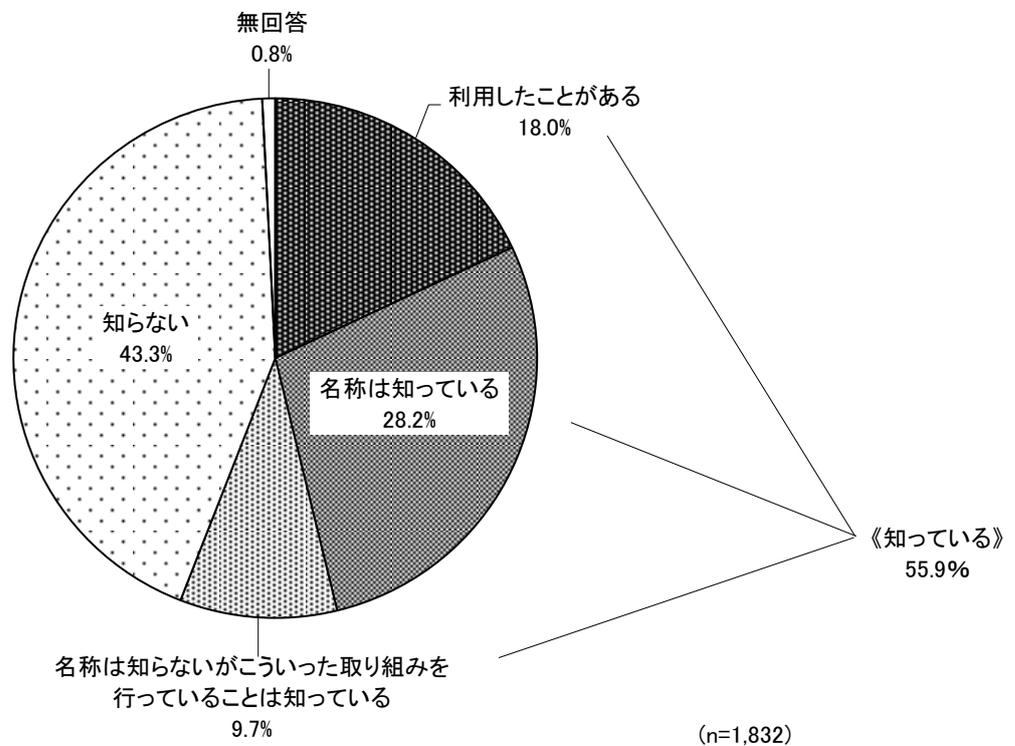
5. 福祉と医療

(1) 「福祉の相談窓口」の認知度

◎ 《知っている》が5割半ば、「利用したことがある」は2割近く

問10 あなたは、区内28地区で実施しているまちづくりセンター、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）、社会福祉協議会が連携して相談を受ける「福祉の相談窓口」を知っていますか。（〇は1つ）

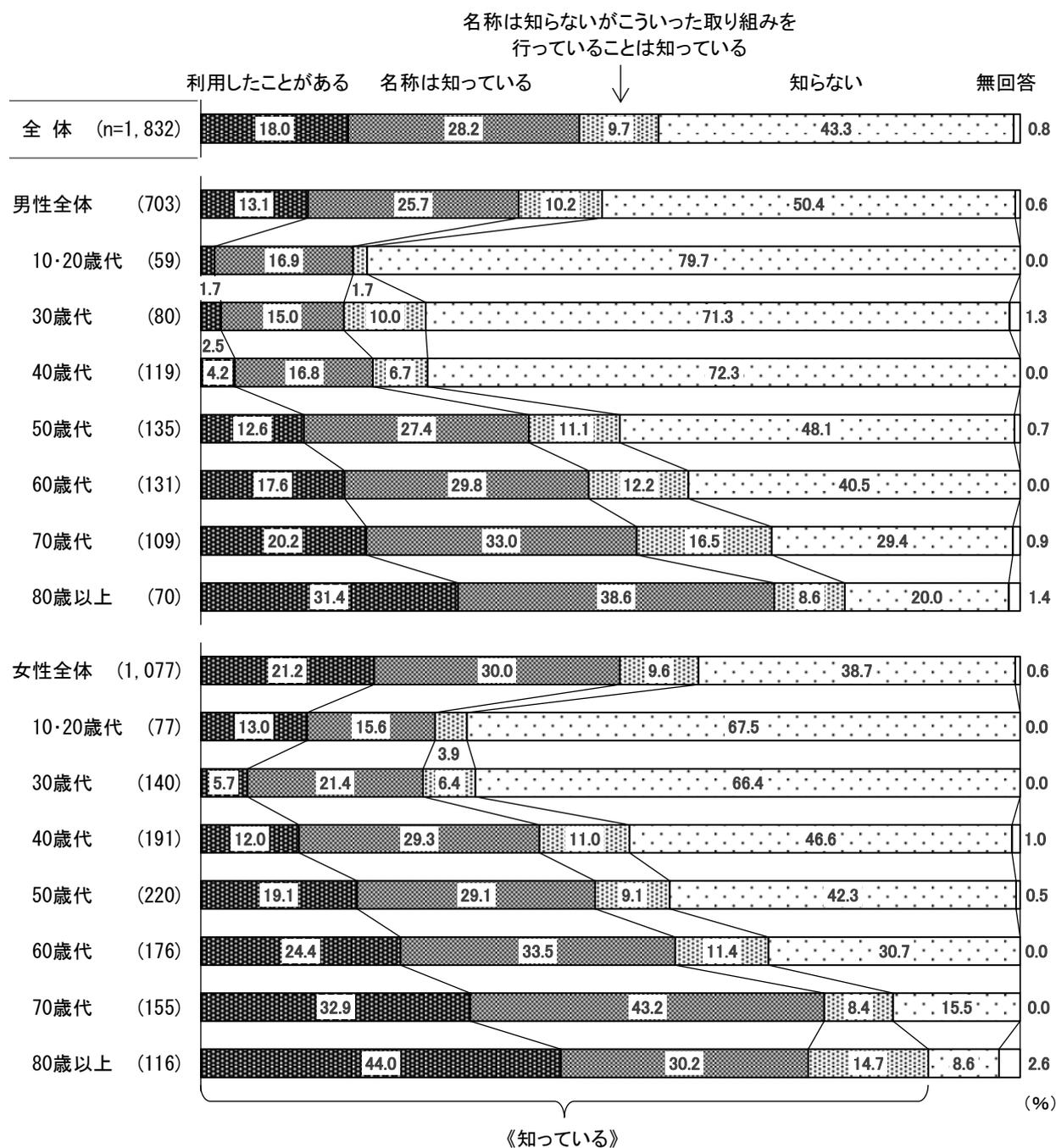
図5-1-1



「福祉の相談窓口」の認知度を聞いたところ、「名称は知っている」（28.2%）、「利用したことがある」（18.0%）、「名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている」（9.7%）を合わせた《知っている》（55.9%）が5割半ば、「知らない」（43.3%）が4割を超えている。

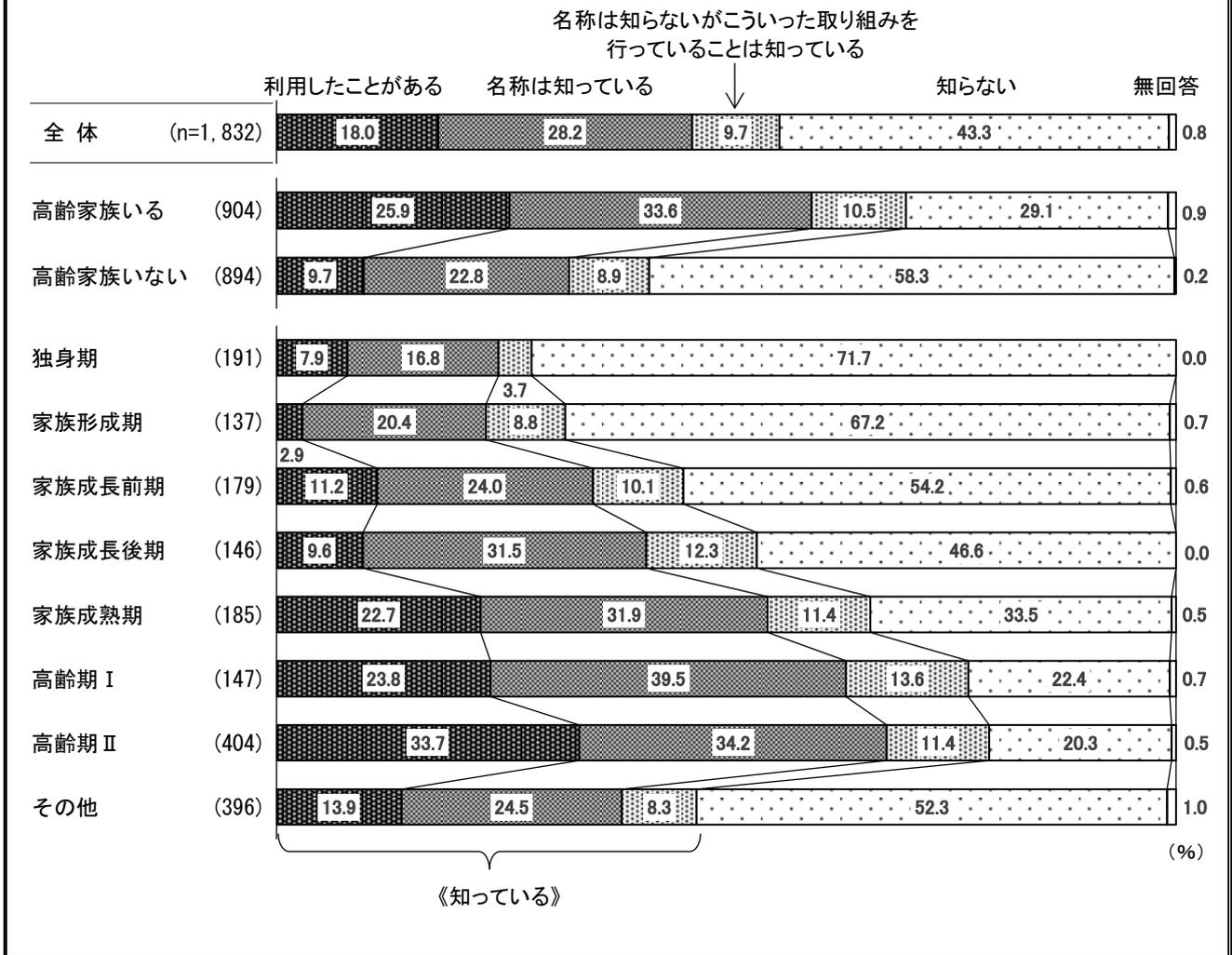
（図5-1-1）

図5-1-2 「福祉の相談窓口」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知っている》は男女ともに年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、女性の80歳以上で9割近く、女性の70歳代で8割半ば、男性の80歳以上で8割近くとなっている。「利用したことがある」は女性の80歳以上で4割半ばとなっている。（図5-1-2）

図 5-1-3 「福祉の相談窓口」の認知度（高齢家族の有無別・ライフステージ別）



高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は「利用したことがある」が2割半ば、「名称は知っている」が3割を超え、高齢家族がいない世帯より高い。

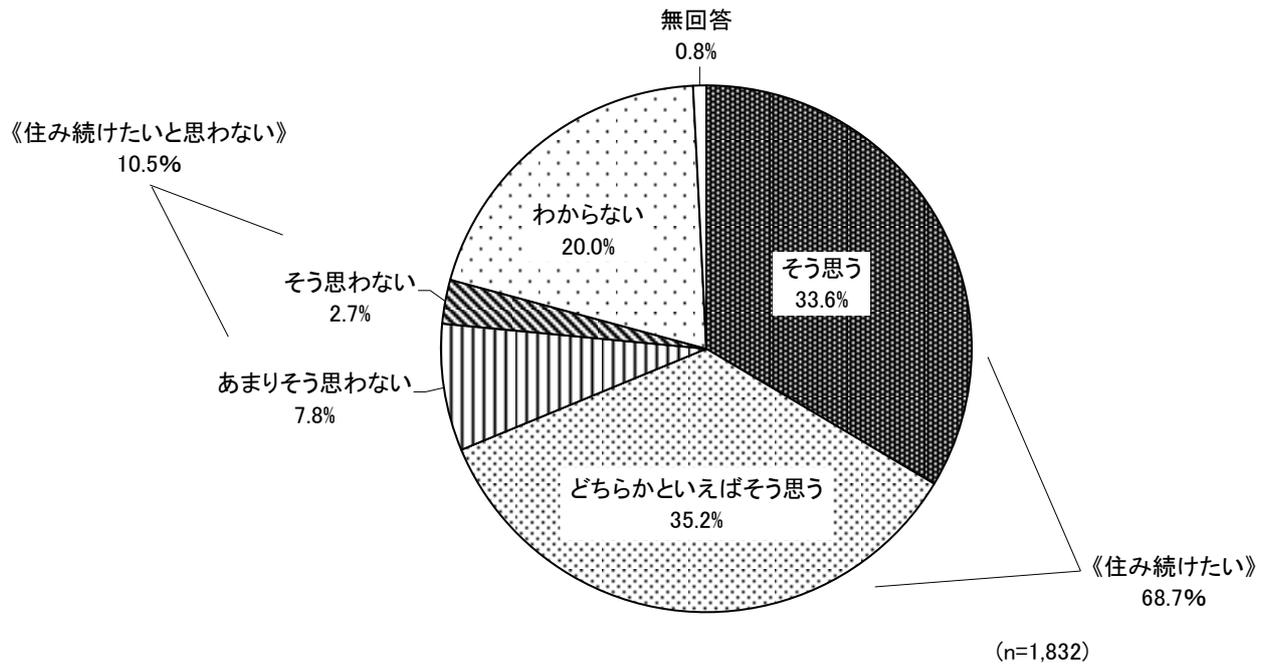
ライフステージ別にみると、「利用したことがある」は高齢期IIで3割を超え、高齢期Iと家族成熟期で2割を超えている。《知っている》は高齢期IIでほぼ8割、高齢期Iで8割近く、家族成熟期で6割半ばとなっている。（図5-1-3）

(2) 介護や医療必要時の居留意向

◎ 《住み続けたい》が7割近く

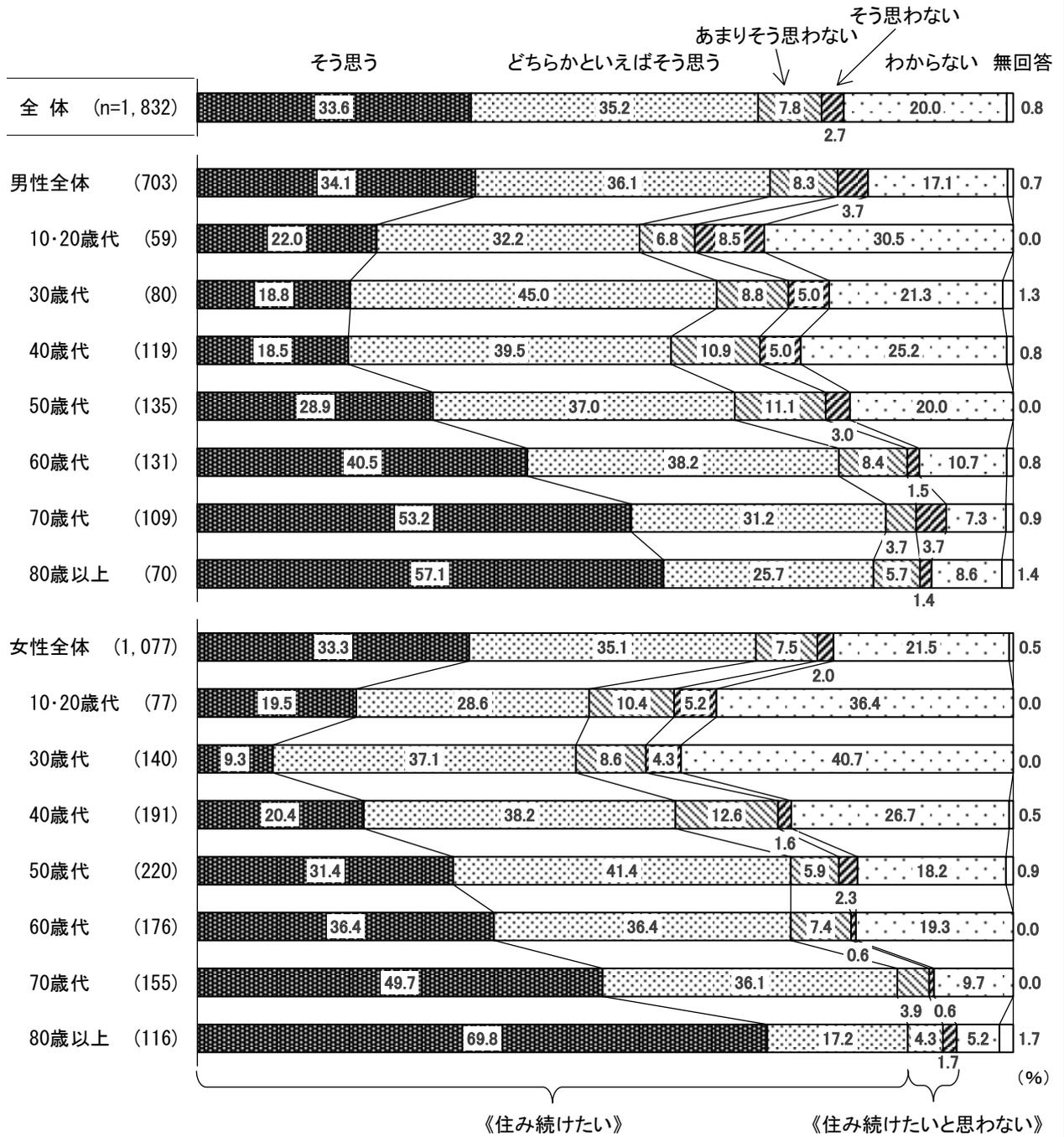
問11 あなたは、介護や医療が必要になっても世田谷区に住み続けたいですか。(○は1つ)

図5-2-1



介護や医療必要時の世田谷区への居留意向について聞いたところ、「そう思う」(33.6%)と「どちらかといえばそう思う」(35.2%)を合わせた《住み続けたい》(68.7%)が7割近く、「あまりそう思わない」(7.8%)と「そう思わない」(2.7%)を合わせた《住み続けたいと思わない》(10.5%)はほぼ1割となっている。(図5-2-1)

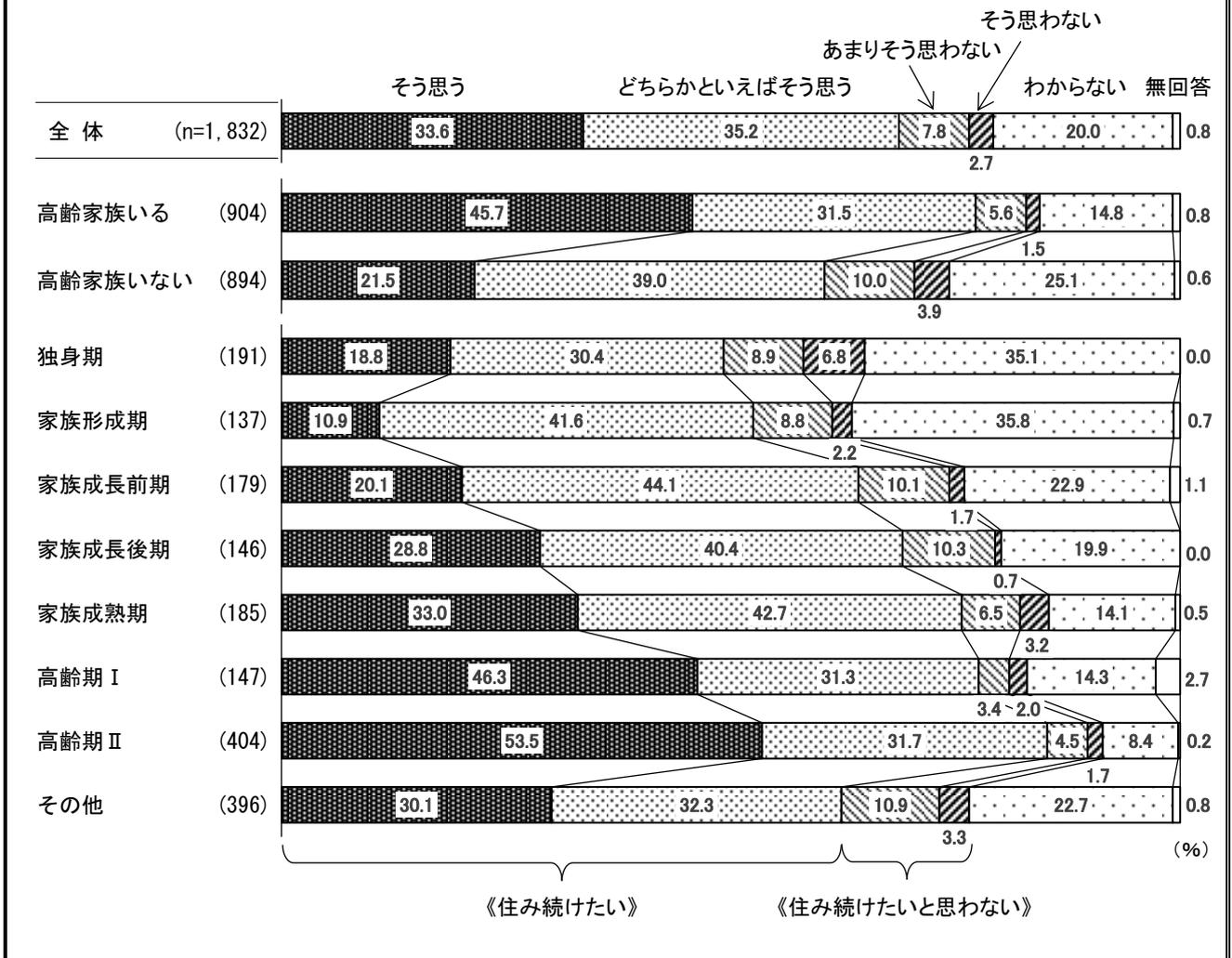
図5-2-2 介護や医療必要時の居留意向（性・年齢別）



性・年齢別にみると、年代が上がるにつれ《住み続けたい》が高くなる傾向にあり、女性の80歳以上で9割近く、男性の70歳代、女性の70歳代で8割半ば、男性の80歳以上で8割を超えている。《住み続けたいと思わない》は男性の50歳代以下、女性の40歳代以下で1割台となっている。

(図5-2-2)

図 5-2-3 介護や医療必要時の居留意向（高齢家族の有無別・ライフステージ別）



高齢家族の有無別にみると、《住み続けたい》は高齢家族がいる世帯で8割近く、高齢家族がいない世帯ではほぼ6割となっている。「そう思う」は高齢家族がいる世帯で4割半ばとなっている。

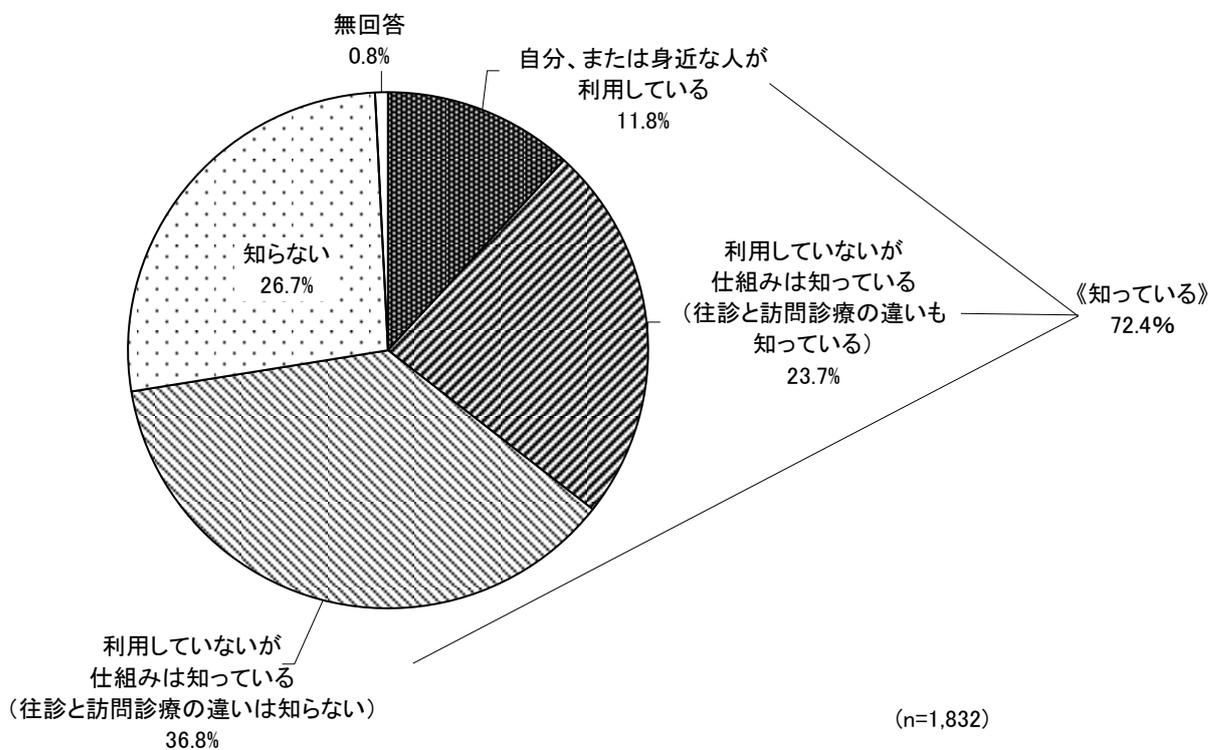
ライフステージ別にみると、《住み続けたい》は高齢期IIで8割半ば、高齢期Iで8割近くで、そのうち、「そう思う」は高齢期IIで5割を超え、高齢期Iで4割半ばとなっている。《住み続けたいと思わない》は独身期とその他で1割半ばとなっている。（図5-2-3）

(3) 「在宅医療」の認知度

◎ 《知っている》が7割を超え、「自分、または身近な人が利用している」は1割を超える

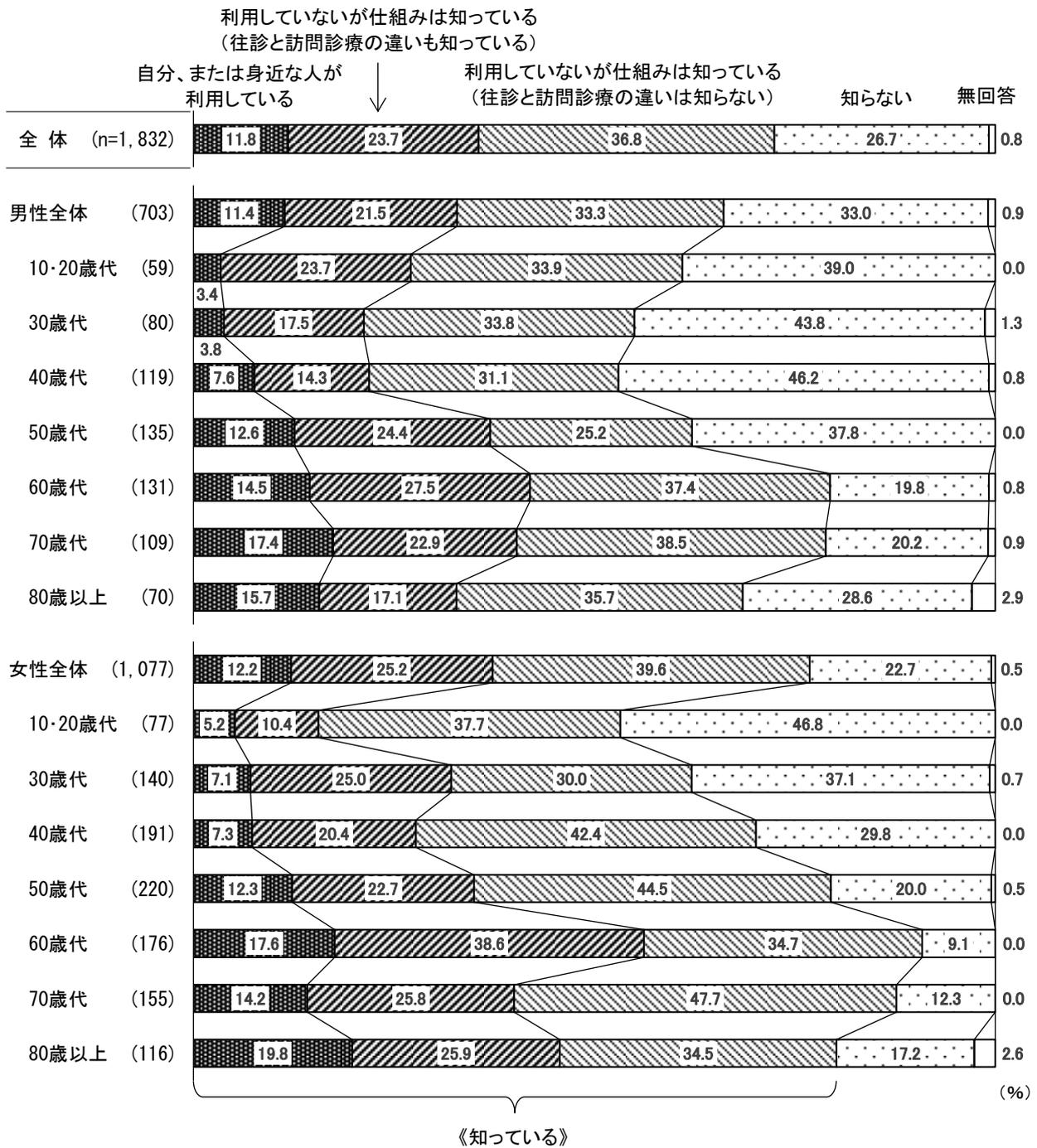
問12 あなたは、訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で療養する「在宅医療」を知っていますか。(〇は1つ)

図5-3-1



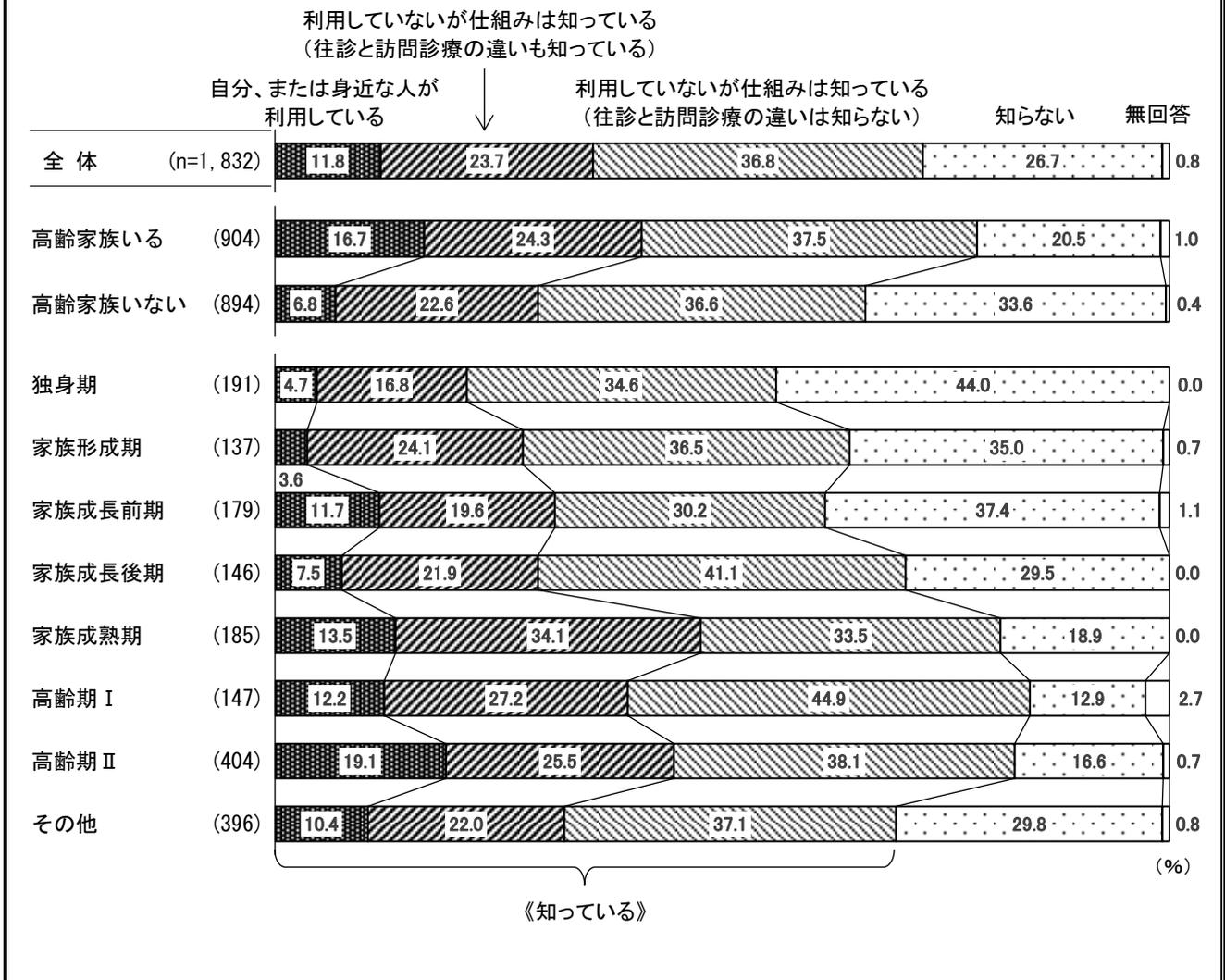
「在宅医療」の認知度を聞いたところ、「利用していないが仕組みは知っている(往診と訪問診療の違いは知らない)」(36.8%)が4割近く、「利用していないが仕組みは知っている(往診と訪問診療の違いも知っている)」(23.7%)、「自分、または身近な人が利用している」(11.8%)と合わせた《知っている》(72.4%)が7割を超えている。(図5-3-1)

図5-3-2 「在宅医療」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知っている》は10・20歳代を除くすべての年代で男性より女性の方が高く、特に女性の60歳代でほぼ9割となっている。「自分、または身近な人が利用している」は女性の80歳以上で2割となっている。(図5-3-2)

図5-3-3 「在宅医療」の認知度（高齢家族の有無別・ライフステージ別）



高齢家族の有無別にみると、「自分、または身近な人が利用している」は高齢家族がいる世帯が2割近くで、高齢家族がいない世帯より高くなっている。

ライフステージ別にみると、「《知っている》」は家族成熟期、高齢期Ⅰ、高齢期Ⅱで8割台と高くなっている。「自分、または身近な人が利用している」は高齢期Ⅱでほぼ2割となっている。

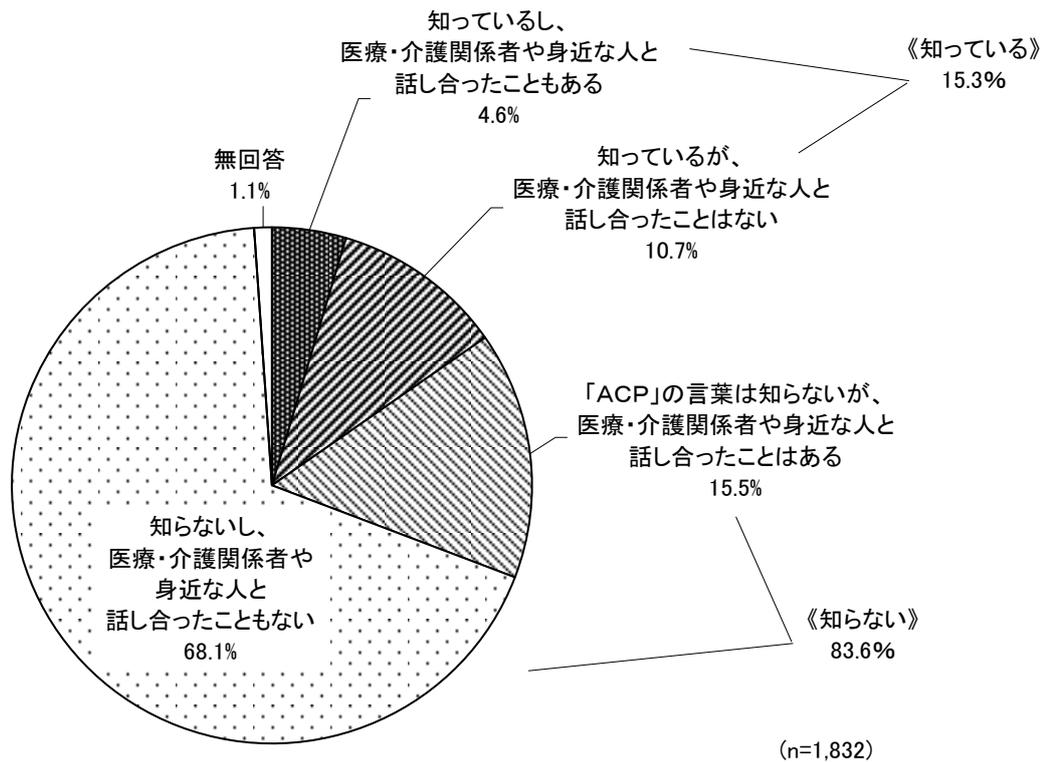
(図5-3-3)

(4)「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度

◎《知らない》が8割を超え、《知っている》は1割半ば

問13 あなたは、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)」を知っていますか。
(〇は1つ)

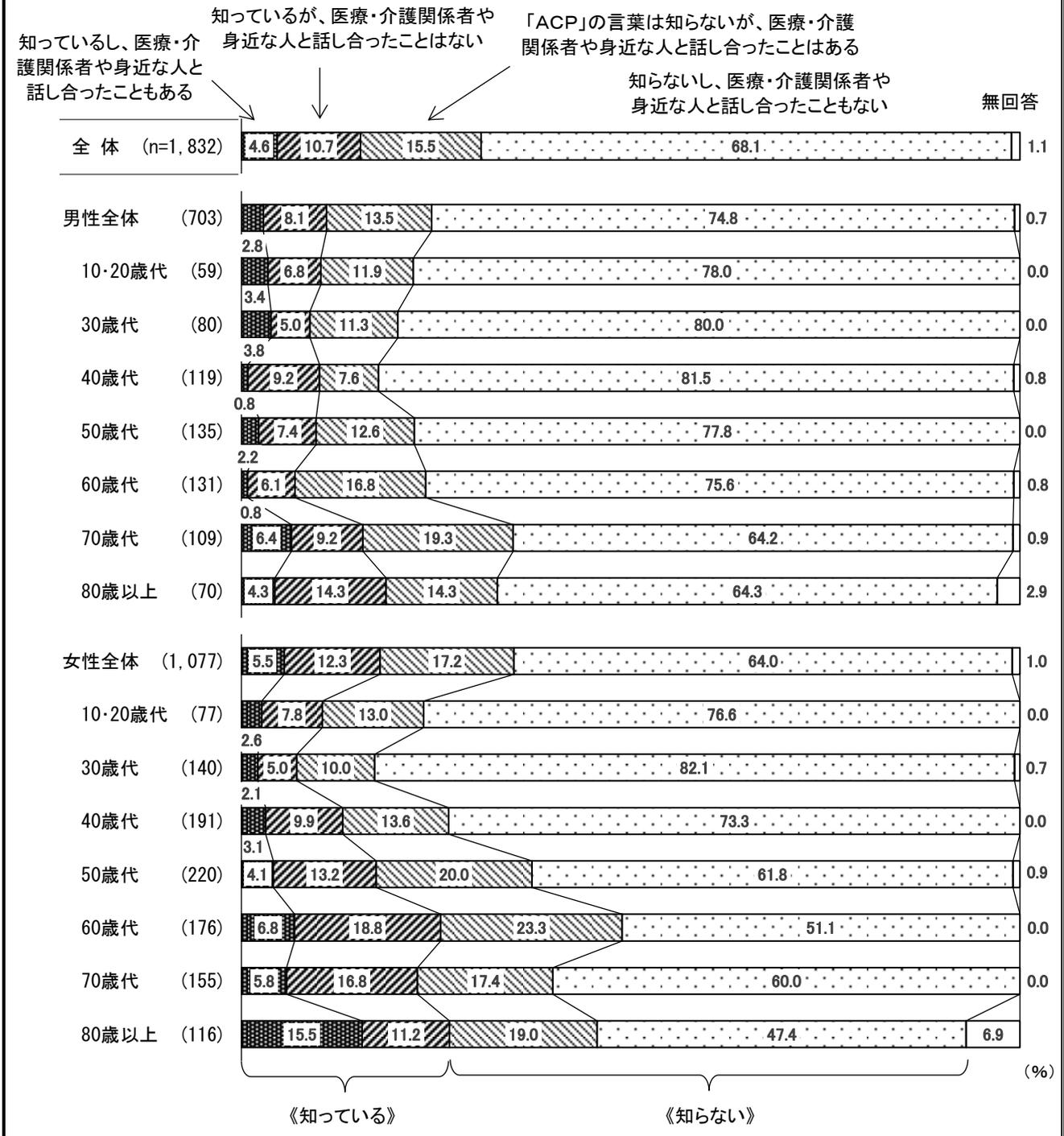
図5-4-1



「ACP」の認知度を聞いたところ、「知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない」(68.1%)が7割近くと最も高く、「「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはある」(15.5%)を合わせた《知らない》(83.6%)は8割を超えている。「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」(4.6%)と「知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない」(10.7%)を合わせた《知っている》(15.3%)は1割半ばとなっている。

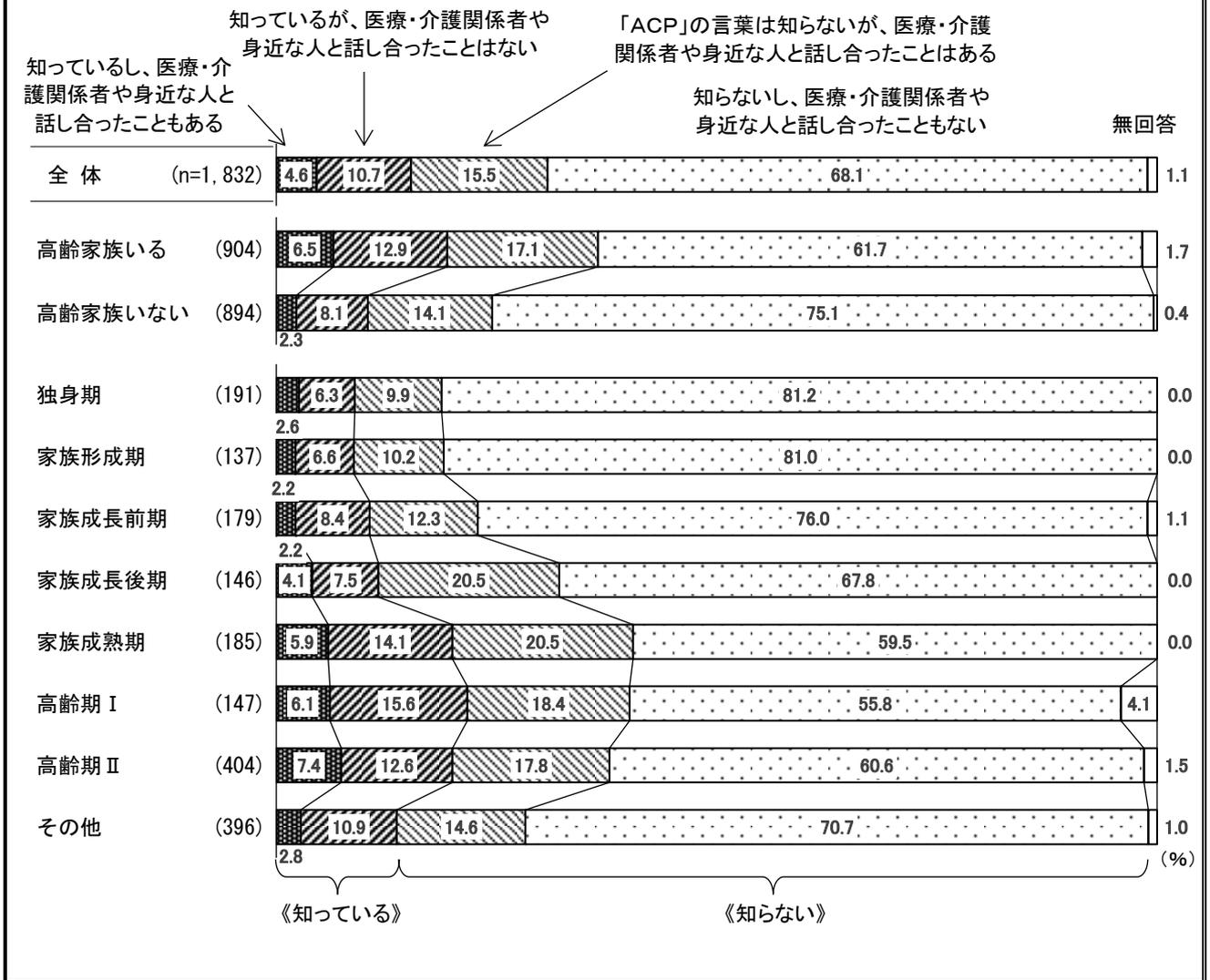
「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」と「「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはある」を合わせた《話し合ったことがある》(20.1%)は2割となっている。(図5-4-1)

図5-4-2 「ACP」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知らない》は男性の30歳代と60歳代、女性の30歳代で9割を超えている。《知っている》は女性の60歳代～80歳以上で2割台と高くなっている。《話し合ったことがある》は女性の80歳以上で3割半ば、女性の60歳代で3割となっている。（図5-4-2）

図5-4-3 「ACP」の認知度（高齢家族の有無別・ライフステージ別）



高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は《知っている》が2割、《話し合ったことがある》が2割を超え、高齢家族がいない世帯より高くなっている。

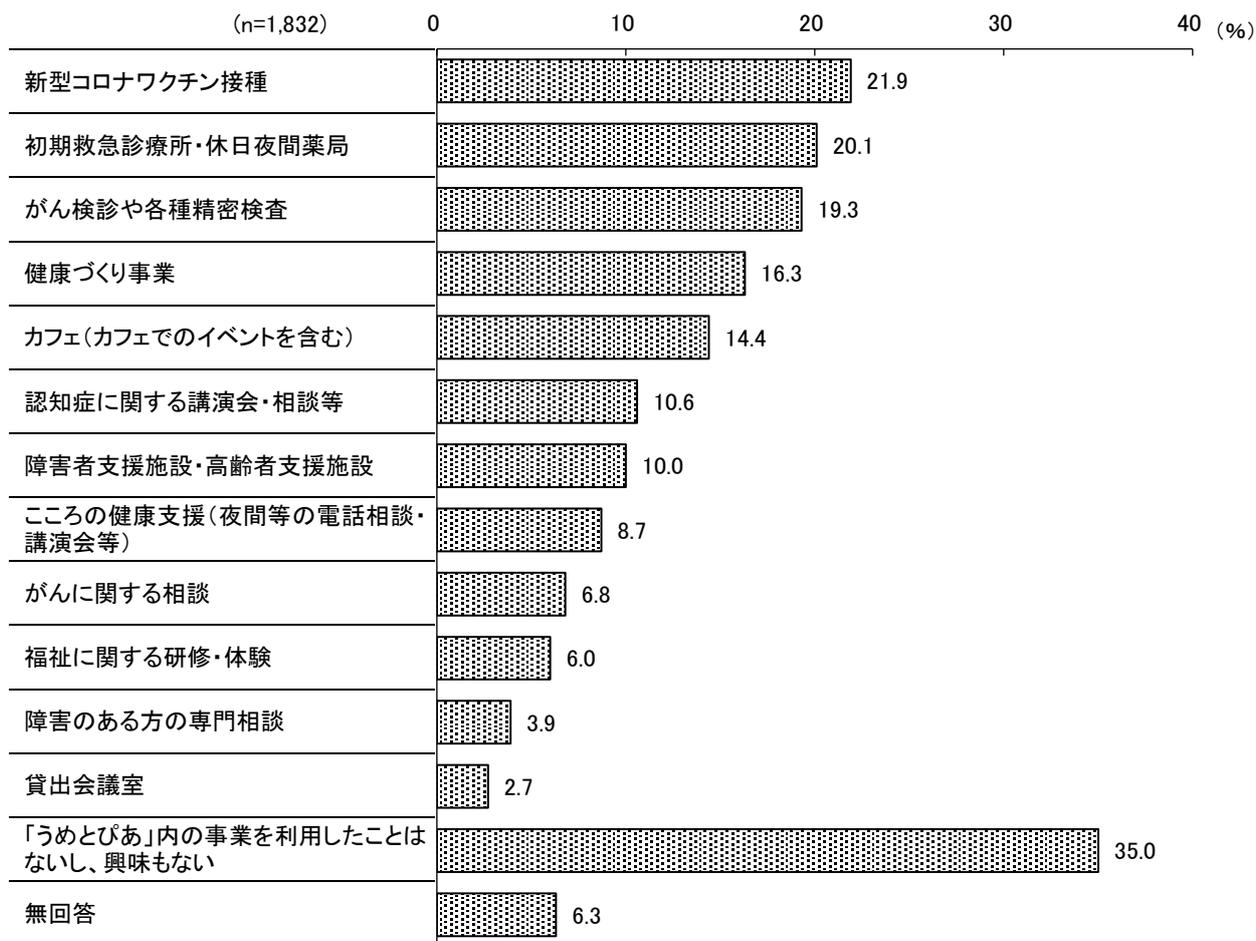
ライフステージ別にみると、《知らない》は独身期、家族形成期で9割を超えている。《知っている》は高齢期 I で2割を超え、《話し合ったことがある》は家族成熟期で3割近く、家族成長後期、高齢期 I、高齢期 II で2割半ばとなっている。（図5-4-3）

(5) 「うめとぴあ」の利用または関心のある事業

◎ 「新型コロナワクチン接種」が2割を超える

問14 「うめとぴあ」内施設で行われている事業について、利用したことのある事業または関心がある事業を教えてください。(〇はいくつでも)

図5-5-1



「うめとぴあ」内施設の事業で利用したことのある事業または関心がある事業を聞いたところ、「新型コロナワクチン接種」(21.9%)が2割を超えて最も高く、以下、「初期救急診療所・休日夜間薬局」(20.1%)、「がん検診や各種精密検査」(19.3%)、「健康づくり事業」(16.3%)、「カフェ(カフェでのイベントを含む)」(14.4%)などと続く。一方、「「うめとぴあ」内の事業を利用したことはないし、興味もない」(35.0%)は3割半ばとなっている。(図5-5-1)

表5-5-1 「うめとぴあ」の利用または関心のある事業（性・年齢別）

(%)

		n	新型コロナワクチン接種	初期救急診療所・休日夜間薬局	がん検診や各種精密検査	健康づくり事業	カフェ（カフェでのイベントを含む）	認知症に関する講演会・相談等	障害者支援施設・高齢者支援施設	講演会等	このころの健康支援（夜間等の電話相談・	がんに関する相談	福祉に関する研修・体験	障害のある方の専門相談	貸出会議室	「うめとぴあ」内の事業を利用したこと はないし、興味もない	無回答
全体		1,832	21.9	20.1	19.3	16.3	14.4	10.6	10.0	8.7	6.8	6.0	3.9	2.7	35.0	6.3	
性・年齢別	男性全体	703	23.8	16.4	17.1	13.8	11.0	8.7	8.8	6.7	6.4	3.8	3.0	2.7	40.0	6.1	
	10・20歳代	59	18.6	6.8	1.7	5.1	15.3	3.4	-	3.4	-	1.7	-	8.5	57.6	10.2	
	30歳代	80	21.3	15.0	12.5	8.8	11.3	6.3	10.0	10.0	5.0	5.0	6.3	1.3	51.3	7.5	
	40歳代	119	21.8	16.8	15.1	10.9	7.6	6.7	1.7	5.9	6.7	3.4	1.7	1.7	44.5	5.0	
	50歳代	135	22.2	19.3	21.5	8.1	8.9	11.9	10.4	7.4	11.1	5.9	2.2	5.2	40.0	5.9	
	60歳代	131	19.8	26.0	26.0	19.1	9.2	9.2	10.7	7.6	8.4	4.6	4.6	2.3	33.6	1.5	
	70歳代	109	32.1	9.2	18.3	21.1	18.3	8.3	15.6	6.4	3.7	0.9	3.7	-	30.3	5.5	
	80歳以上	70	31.4	12.9	11.4	21.4	8.6	12.9	10.0	4.3	4.3	4.3	1.4	1.4	31.4	12.9	
	女性全体	1,077	21.1	22.9	21.2	18.3	17.0	11.8	11.0	9.9	7.1	7.3	4.5	2.7	31.9	5.5	
	10・20歳代	77	10.4	9.1	10.4	6.5	19.5	1.3	5.2	6.5	3.9	2.6	-	2.6	54.5	2.6	
	30歳代	140	15.7	21.4	23.6	11.4	19.3	5.7	5.0	13.6	5.7	6.4	4.3	2.9	45.7	5.0	
	40歳代	191	16.8	29.3	22.0	14.7	15.2	14.1	7.9	12.0	7.3	9.4	3.7	4.2	34.0	6.8	
	50歳代	220	19.1	27.3	25.9	20.5	25.9	15.5	12.3	13.6	13.2	10.5	7.7	2.7	29.1	2.7	
	60歳代	176	21.0	23.3	21.0	26.7	12.5	11.4	14.8	8.0	5.1	8.0	5.7	3.4	26.7	4.5	
70歳代	155	34.8	20.0	23.9	26.5	13.5	14.8	14.8	5.8	7.1	4.5	3.2	1.3	20.0	1.9		
80歳以上	116	27.6	17.2	11.2	12.1	9.5	12.1	14.7	6.0	2.6	4.3	3.4	0.9	26.7	17.2		

性・年齢別にみると、「新型コロナワクチン接種」は女性の70歳代で3割半ば、男性の70歳代と80歳以上で3割を超えている。「初期救急診療所・休日夜間薬局」は女性の40歳代でほぼ3割、女性の50歳代で3割近く、「健康づくり事業」は女性の60歳代と70歳代で3割近くとなっている。「がん検診や各種精密検査」は男性の60歳代、女性の50歳代で2割半ば、「カフェ（カフェでのイベントを含む）」は女性の50歳代で2割半ばとなっている。一方、「「うめとぴあ」内の事業を利用したことはないし、興味もない」は男性の10・20歳代と30歳代、女性の10・20歳代で5割台となっている。（表5-5-1）

表5-5-2 「うめとびあ」の利用または関心のある事業
(高齢家族の有無別・ライフステージ別)

(%)

	n	新型コロナワクチン接種	初期救急診療所・休日夜間薬局	がん検診や各種精密検査	健康づくり事業	カフェ（カフェでのイベントを含む）	認知症に関する講演会・相談等	障害者支援施設・高齢者支援施設	講演会等	このころの健康支援（夜間等の電話相談・	がんに関する相談	福祉に関する研修・体験	障害のある方の専門相談	貸出会議室	「うめとびあ」内の事業を利用したことはないし、興味もない	無回答
全 体	1,832	21.9	20.1	19.3	16.3	14.4	10.6	10.0	8.7	6.8	6.0	3.9	2.7	35.0	6.3	
高齢家族別	いる	904	26.7	18.8	19.4	19.0	12.1	12.8	7.2	5.6	5.6	3.8	2.3	30.3	6.3	
	いない	894	17.6	21.9	19.6	13.5	9.2	7.5	10.3	7.9	6.3	4.1	3.0	39.9	5.6	
ライフステージ別	独身期	191	16.8	11.0	10.5	7.3	16.2	5.8	5.8	8.9	4.7	4.7	2.6	4.7	51.8	5.8
	家族形成期	137	19.7	25.5	21.2	10.9	17.5	4.4	5.1	12.4	4.4	3.6	3.6	1.5	43.8	5.8
	家族成長前期	179	17.3	18.4	17.3	7.8	14.5	4.5	5.0	6.1	7.3	5.6	4.5	3.9	41.9	6.1
	家族成長後期	146	25.3	24.7	19.9	16.4	16.4	16.4	8.9	13.0	9.6	11.0	3.4	3.4	26.0	7.5
	家族成熟期	185	17.8	23.8	21.1	17.8	16.2	11.4	14.1	8.1	10.8	9.2	6.5	2.7	34.6	1.1
	高齢期Ⅰ	147	28.6	23.1	24.5	25.2	15.0	8.2	10.9	7.5	6.1	4.1	3.4	4.1	17.0	10.2
	高齢期Ⅱ	404	29.0	16.1	17.8	19.6	11.1	13.4	15.1	6.2	4.2	5.0	3.5	0.7	29.0	6.7
	その他	396	18.2	23.7	23.0	19.4	14.6	14.1	9.8	10.6	8.6	6.1	4.0	2.8	37.6	5.3

高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は「新型コロナワクチン接種」が3割近くで最も高く、高齢家族がいない世帯は「初期救急診療所・休日夜間薬局」が2割を超えて最も高くなっている。

ライフステージ別にみると、「新型コロナワクチン接種」は、高齢期Ⅱでほぼ3割、高齢期Ⅰで3割近く、家族成長後期で2割半ばとなっている。「初期救急診療所・休日夜間薬局」は家族形成期と家族成長後期が2割半ば、「がん検診や各種精密検査」と「健康づくり事業」は高齢期Ⅰが2割半ばとなっている。「うめとびあ」内の事業を利用したことはないし、興味もない」は独身期で5割を超えている。（表5-5-2）